

中1国語 出題のねらいと対策

1 漢字の読み書き 82.5%

ねらい：漢字の読み書きについての知識を問う。

分析と対策：「縮む」「設ける」や「暴利」は、仮名づかいにも注意しましょう。また、「編む」や「垂れる」は読みでもよく出題される漢字です。「誤報」や「増築」は、前後から意味を考えながら漢字を考えましょう。

2 同音・同訓異字 85.0%

ねらい：同音異義語・同訓異字についての知識を問う。

分析と対策：漢字は、表音文字であり、表意文字でもあります。また、訓読みでわからないときは音読み、音読みでわからないときは訓読みと、置き換えてみたり、同じ漢字の他の熟語を思い出したりして考えましょう。

3 敬語 42.0%

ねらい：敬語についての知識を問う。

分析と対策：敬語では、尊敬語と謙譲語の違いを正しく理解することが必要です。また、敬語表現が過度に使われていないか、使うべきではない対象に使われていないかにも注意しましょう。

4 文学的文章読解 70.6%

ねらい：小説文において、登場人物の心情を、その人物の表情や言動から読み取る力を問う。

分析と対策：母や兄の言動のもとになる心情に関するものや、東京の大学受験に対する優花と母の思いの違いを丁寧に読み取っていきましょう。また、優花の心情や行動に関する問題では、なぜ東京の大学を受験したいのか、母の

言葉をどう受け取ったのか、早瀬に対する気持ちとはどういうものかなどを読み取っていきましょう。この文章では、記述問題や抜き出し問題を中心に、記号選択問題も出題されています。抜き出し問題や記号選択問題では、設問文、選択肢をよく読んで解答の手がかりとなる内容をとらえるようにしましょう。記述問題では、解答を一度整理した上で書き出すようにするとよいでしょう。

5 説明的文章読解 55.3%

ねらい：説明文において、「事実」と「筆者の考え」を区別しながら読み進めていく力を問う。

分析と対策：この文章は「竹取物語」と「紫式部日記」という古典をもとに、当時の人々の「月」や「季節の移行」に対する思い・感受性を論じたものです。古典には生活者であった当時の人々の意識も反映されているという点を押さえましょう。「紫式部日記」の冒頭部分が名文とされる理由を読み取る問題では、「さて、この文章が名文といえる理由はどこにあるのだろう」という記述から、このあとの部分に理由が書かれていることがわかります。(8)は文章の構成を読み取る問題、その他は文学作品の知識や本文の内容の細部を読み取る問題になっています。長い文章が出題されたときには、先に問題に目を通してヒントになりそうな言葉をチェックした上で文章を読むと、効率よく解き進められます。また、筆者の主張が強く込められた文を探すことも必要になります。

全体の平均点は 66.2点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。